

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ISO14001を取得している。 ・環境影響評価を実施して有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3				11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・ISO14001に取組んでおり、電力やガソリンなど環境負荷の削減目標を設定し、環境活動に取り組んでいる。 ・社内のエネルギー使用量を自動で把握する監視システムを導入し、使用したエネルギーを算出して、常時、監視している。 ・毎月、環境削減目標と使用量を比較し、省エネ、省資源に取り組んでいる。 ・小規模であるが、太陽光パネルと小型風力発電機を設置し、オフィスの節電に取り組んでいる。 ・オフィス内の照明はLEDを化を進めており、エアコンやOA機器類は可能な限り省エネ型を導入している。 ・公用車も可能な範囲でHV車や低燃費車を導入している。 ・中間処理施設、設備の定期メンテや稼働状況の改善を通じて、省エネルギーに取り組んでいる。							7.3					13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・ISO14001を取得している。温室効果ガス使用量の削減目標を明確にし、目標を具体的に達成する活動を設定して、温室効果ガスの削減に取り組んでいる。 ・毎月、使用量を把握し、目標の達成状況と未達成の時は正・予防処置を実施している。 ・全社員で意識して、CO2排出の抑制に取り組んでいる。			2.4						7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に取り組んでいる。 ・社内の緑地や花植え等の実施など、生物の生息・生育地の創出に取り組んでいる。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・PC情報システム、メールによる情報の共有化を推進し、不要な文書の削減に積極的に取り組んでいる。 ・工場における資源利用の削減や再利用を推進している。 ・生産性、品質向上による廃棄物残渣の削減に取り組んでいる。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・工場で使用する水について循環型のシステムを導入し、水の再利用を積極的に実施している。 ・環境活動を明確にして、全社員で「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。 ・事業所内設備に節水器具等を使用している。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.5 6.6				11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・ISO14001を取得している。 ・環境活動にグリーン購入を設定し、環境に配慮した製品の購入に取り組んでいる。										9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・社員に食品ロスの削減を含む教育を実施し、意識の醸成と実践の土壌づくりに取り組んでいる。 ・家庭での食品ロス削減の実践を奨励している。	1	2					6.4						12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・自社内の緑化や植栽に取り組んでいる。 ・地域の緑化活動(ボランティア等)に参加している。											11.6 11.7			13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・工場屋根に設置した太陽光パネルや風力発電により、再生可能エネルギーの活用とオフィスの節電に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・公用車(社用車)は、可能な範囲でHEV車、低燃費車を使用している。											9.4			11.2		13.1 13.3			
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●											7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13			17.2	

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・ISOのリスクと機会の評価にて、製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・提供するサービスの質を確保するため、要望苦情の窓口設置やアンケートの実施などにより顧客の意見を聞き、関係者で共有、活用している。			3.9						9		12.4									
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・事務所にはエレベーター、スロープ、多目的トイレ、シャワートイレなどを整備している。 ・高齢者や障害者、女性等の業務を考慮した安全衛生全般を見直し、手順等を改善するなど、安全確保及び作業環境改善を行っている。									9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		・事業と法規類(消防法)の関係で推進は難しいが、自社の建屋などに関しては、可能な範囲で県産材を使用し、県産材の利用を促進している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●		・事業と法規類(消防法)の関係で推進は難しいが、自社の建屋などに関しては、可能な範囲で県産材を使用し、県産材の利用を促進している。							7					12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●		・事業そのものが、循環型社会の形成を推進する事業なので、事業を通して社会の課題を解決する製品を提供している。常時、地域に寄与する製品の開発に取り組んでいる。 ・廃プラスチックを再利用した製品(廃棄物処理資源)を開発し、商品化している。 ・地球温暖化対策に資する木質燃料の普及を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●					2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15				17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・従業員が居住する地域の活動に参画するよう奨励している。(環境報告書に記載) ・地域事業者として、地域の防災活動や自然保全活動に参画している。 ・事業を通して、地球規模又は地域が抱える課題解決のため、寄附を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・ISO14001や安全衛生に基づき、過去の災害等を教訓にして事業の被害防止・軽減のための手順を確立している。 ・従業員に上記手順を周知している。 ・定期的に、手順に基づき緊急事態の教育訓練を行っている。記録を残し、教育訓練の評価や手順の見直しを実施している。 ・事業所において、防災備蓄や防災の設備や道具類を常備している。				4							11.5		13.1				16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・地域を代表する企業として、社会的な存在を認識し、その責任を果たし、地域の利益を追求することに取り組んでいる。 ・自社内にAED(自動体外式除細動器)を設置している。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1				16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●												9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		・顧客及び見学者、従業員に対し、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。 ・社内でSDGsに関する研修を実施し、役員にSDGsへの意識が浸透している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		・地域の小中学校への環境出前講座を実施し、ごみの分別とリサイクルの仕組みを学んでいただき、環境意識の向上と環境活動推進の啓発を積極的に実施している。 ・企業の方に限らず、一般の方の工場見学を受入れ、循環型社会の重要性と推進の啓発を積極的に実施している。				4					8.6		10.2								17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		・地元の学生を積極的に雇用し、中途採用も行っている。 ・地域の雇用を維持し、地域で働きたい方々の受け皿になるように取り組んでいる。地元学生向けの職業紹介イベントへ積極的に参加している。				4.4					8.5 8.6										17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●					2		4.3 4.4 4.5			8.6		10.2		12	13	14	15				17	